

第328号 2013年 4月 16日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

「震災研究交流会～弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう～」開催のお知らせ

弘前大学大学院地域社会研究科では、「震災研究交流会」を下記により開催いたします。震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

当日は報告の後に、震災に関する情報・意見交換を行います。情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

1. 日 時：2013年4月16日（火）18：00～
2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大8階
八甲田ホール
3. 内 容：[司会] 上平 好弘 弘前大学地域共同研究センター
産学連携コーディネーター

[講演] 地震被害想定—その前とその後—
片岡 俊一 弘前大学理工学研究科 准教授

研究プロジェクト「北リアスにおけるQOLを重視した災害復興政策研究—社会・経済・法的アプローチ」の概要
李 永 俊 弘前大学人文学部教授・
弘前大学ボランティアセンター 副センター長

※講演後に意見・情報交換が行われます。

4. 対 象：一般の方、学生、教職員

問い合わせ先：檜 楨 貢（地域社会研究科・教授）
電 話：0172-39-3938（内線3938）
E-mail：himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

「親子で科学しよう！会場いっぱいの光のパワー」開催のお知らせ(再掲)

学都HIROSAKI推進フォーラムは、青少年の理科教育及び科学技術分野に対する啓発となる企画を目的として、様々な講演会を開催してまいりました。今年は、見て試すことのできる、楽しい科学実験を通して、普段の生活では得られない新たな発見、面白さを体験していただける企画を下記のように準備しております。



日時 2013年 4月 16日 (火) 18:00~20:00

場所 コラボ弘大8F 八甲田ホール

司会 上平好弘 弘前大学地域共同研究センター 産学連携コーディネーター

プログラム

18:05 ~ 講演

○地震被害想定—その前とその後—

片岡 俊一 弘前大学理工学研究科 准教授

○研究プロジェクト「北リアスにおけるQOLを重視した災害復興政策研究—社会・経済・法的アプローチ」の概要

李 永 俊 弘前大学人文学部 教授・弘前大学ボランティアセンター 副センター長

19:45 ~ 意見・情報交換

※ 震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できます。
※ 申込、参加の申込、申込に関する情報・費用は別途お知らせいたします。参加者お持ちのIDやICカードはご持参ください。
※ 満席定員了後、有志の懇話会を予定しています。

【連絡先】 弘前大学地域共同研究センター 産学連携課（電話室）
Tel. 0172-39-3938（内線3938） Mail: himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

身近にお子様のおられる教職員の皆様、ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

1. 日 時：2013年5月5日（日）13:30～16:10
（開場13:00 開演13:30 終了16:10）

2. 場 所：弘前大学創立50周年記念会館

3. 講 師：ガリレオ工房 滝川 洋二氏、土井 美香子氏、他

4. 内 容：第1部 ガリレオ工房の大実験ショー
「光のふしぎをさぐれ」

テレビでおなじみの滝川洋二先生（ほこ×たて、世界一受けたい授業）による光のマジックショーを中心に、光について学びます。

第2部 もっと体験！光の実験・工作&理科読
出前教室でおなじみの野呂先生を中心に、地域の高校生・中学生に教えてもらいながら、各コーナーで実験を楽しめます。



6. 対 象：本学教職員、弘前市民、近隣市町村にお住まいの方（定員：200名）

7. 申 込：参加をご希望の方は、4月19日（金）まで下記申し込み先に氏名、所属、年齢を電子メールにてお知らせください。

8. 主 催：学都HIROSAKI推進フォーラム

9. 後 援：弘前市、弘前市教育委員会

10. 協 賛：弘前大学

問い合わせ・申し込み先：弘前大学大学院理工学研究科 古屋研究室
電話・FAX：0172-39-3640
E-Mail: y-yoshid@cc.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

弘前大学附属図書館 編「複製 太宰治自筆ノート」（A5変型判）
修身ノート128頁、英語ノート168頁、脱漏頁（修身、英語それぞれ2頁）、解説8頁
定価12,600円（税込）を出版しました（限定150セット）。

太宰および太宰文学の原点を知る宝庫！
—太宰研究者、太宰文学愛好家へ—

太宰治は、1927年に弘前大学の前身である官立弘前高等学校に入学した。本資料は、そのときの「英語」と「修身」の自筆ノートを忠実に複製したものである。「英語」ノートは大部分がThomas Babington Baron MacaulayとCharlotte Brontëによる著作の日本語訳の口述筆記。「修身」ノートは、修身を受け持った宮城敏夫教授自身が研究し、思うところをみずからの言葉で講義したものと推測される。

2冊のノートには実に多くの落書きがある。その大半は戯画化された肖像画と自己の署名などであるが、太宰治の筆致を如実に見ることができる。英語の授業への生徒達の不満や修身の授業への大正デモクラシーの影響なども読み取れ、当時の太宰をとりまく様子がいきいきと伝わってくる。

本資料は太宰研究の基礎資料であるとともに、昭和初期の官立高等学校においてどのような教育がなされていたかを知る上でも貴重な価値を有するといえよう。

取り扱いには弘前大学生協のみとなります。

ご興味をお持ちの方は弘前大学生協にてお問い合わせください。



教育学部 国語教育講座 編著「太宰へのまなざし—文学・語学・教育—」（四六判、281頁、定価1,680円：税込）を出版しました。

津軽出身の小説家・太宰治は、日本近代文学史上でも屈指の人気作家として、今日に至るまで多くの読者を魅了し続けている。その独特な文学世界は、一般に抱かれがちな「破滅型」といったイメージに決して収まることのない、多面的で豊かな魅力を持つ。本書は太宰の文学に対して、弘前大学教育学部国語講座に所属する教員が、それぞれの専門（文学・語学・教育）の立場から検討を行った論集である。三つの研究領域にまたがり、様々な視点・テーマにもとづく本書の多角的なアプローチは、太宰文学の尽きせぬ魅力に迫る上で確かな意義を有するはずである。

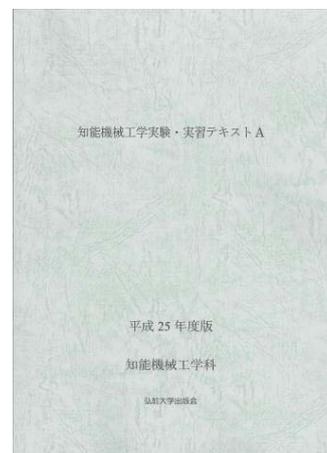
ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。



理工学部知能機械工学科 共著「知能機械工学実験・実習テキストA」（A4判、135頁、定価1,500円：税込）を出版しました。

本書は、弘前大学理工学部知能機械工学科で2年生を対象に2013年4月から開講される知能機械工学実験Aおよび知能機械工学設計Aの実験指導書である。機械工学を学ぶ学生が基礎として身につけておくべき項目のうち、機械材料に関する項目として「材料特性とその評価」、流体力学の基礎に関する項目として「流体特性とその測定原理」、機械力学や機械制御に関する項目として「メカトロニクスの基礎」、制御回路に関する項目として「制御電子回路の基礎」、をとりあげる。また、機械製図の基礎として「製図とCAD」の各項目をとりあげ、実験と実習を通して学習するための資料を提供する。

受講の方は大学生協でお買い求め下さい。



理工学部知能機械工学科共著「知能機械工学実験・実習テキストB」（A4判、95頁、定価 1,000円：税込）を出版しました。

本書は、2013年度に弘前大学理工学部知能機械工学科で3年生を対象に開講される「知能機械工学実験B」、「知能機械工学設計B」、「創造実習」の実験指導書である。機械工学を学ぶ学生が身につけておく項目のうち、(i) 材料システム評価、(ii) 熱輸送の科学と技術の基礎、(iii) 動的システムの計測と制御、(iv) 薄膜微細加工、(v) 設計製図、(vi) 創造実習を取りあげ、実験と実習を通して学習するための資料を提供する。

受講される方は大学生協でお買い求め下さい。



弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電話：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail: hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から）講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。
◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ
E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp Fax:39-3498、内線：3012